

全道フットサル選手権大会2016 一般の部 宗谷地区予選

開催要項

- | | |
|--------------|---|
| 1 主 催 | 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟 |
| 2 協 賛 | NHK札幌放送局、北海道新聞社 |
| 3 主 管 | 宗谷地区サッカー協会 |
| 4 後 援 | 稚内サッカー協会 |
| 5 期 日 | 平成27年12月20日(日) |
| 6 会 場 | 稚内市総合体育館(稚内市富士見4丁目) |
| 7 参 加 資 格 | (1) フットサルチームの場合
① 本年度(公財)日本サッカー協会に「フットサル1種」または「フットサル2種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。
② 第1項のチームに所属する2000年4月1日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
(2) サッカーチームの場合
① 本年度(公財)日本サッカー協会に「2種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。
本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。
② 前項のチームに所属する1997年4月2日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
(3) 宗谷地区サッカー協会から出場停止を受けていない選手であること。
(4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
(5) 本大会フットサル登録料(2,000円)を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
(6) 全道大会出場チームは平成28年1月13日(金)までに全道用の申込書を提出可能なチームのみ参加することが出来る |
| 8 参加チーム及びその数 | (1) 2チーム(利尻FC・Desafio F・S 申し込み順) |
| 9 競技会規定 | 大会実施年度、(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。ただし、以下の項目については、本大会の規定を定める。
(1) ピッチは総合体育館、縦(ステージから奥)の1面とする(36m*20m)(参加チームよって変更有)
(2) 使用球は、フットサル4号ボールとする。
(3) 競技者の数
・競技者の数 → 5名
・交代要員の数 → 15名以内(全道大会は10名以内)
・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数 → 2名以内
(4) ベンチに入ることのできる人数は、20名以内(交代要員15名以内、役員5名以内)とする。
(参加申込書に記載されている者のみベンチ入り出来る)
(5) 試合時間
① 2チームによる代表決定戦とし、40分間(前後半各20分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムは5分間(前半終了から後半開始まで)とする。
(6) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)
① 引分の場合はPK方式とする。
② PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
(7) タイムアウトを適用する(前後半各1回) |
| 10 競技方法 | (1) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗退したものとみなす。その後試合が予定されている場合はすべて0対5とする(天災により出場出来ないチームがあった場合、正当な理由であることが確認できた際は、出場辞退を認め、大会参加料を徴取しない)それ以外については、宗谷地区サッカー協会規律委員会にて協議し、(公財)北海道サッカー協会の判例を見て処分する。 |
| 11 懲 罰 | (1) 本大会において退場を命じられた選手が、宗谷地区代表チームとなった場合懲罰書を提出しその際の決定事項は(公財)北海道サッカー協会に委ねる。予選敗退チームの選手に限りよほど悪質でない限り大会終了後解消される。
(4) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の規律・フェアプレー委員会が決定する。
(5) ここで言う、規律・フェアプレー委員会とは、千葉審判長(または代わりにの審判委員会派遣審判員)・吉村施設委員長・福田特任理事・本山事務局長の4名で構成する。その4名が試合に関わっていても4名で決定する(審判員決定後規律・フェアプレー委員会メンバーが変更することもある) |
| 12 問い合わせ先 | (1) 参加料は(公財)北海道サッカー協会登録チームは12,000円(フットサル登録料込)
未登録チームは15,000円(フットサル登録料込)を大会当日に受付にて納入すること。
(2) 選手が高校生の場合は、親権者の承認印のある親権者同意書を受付時に提出すること。
(2種チームは初年度に提出しているチーム・選手に限り必要なし)
高校生が社会人チームで出場する場合は、親権同意書を提出すること。
(3) 連絡先 〒097-0005 稚内市大黒2丁目7番40号
宗谷地区サッカー協会 事務局 本山哲司 宛
E-mail soya-fa.2007@earth.ocn.ne.jp
携帯 090-8635-7341 |

- ・親権者同意書(当日)
- ・本大会フットサル参加申込票(1部・当日持参。上から背番号順に記載する)
- ※地区協会は、地区予選参加チーム分の「本大会フットサル登録票」及び「フットサル登録料」(1チーム2,000円)を持参すること。参加料に含まれております。

- (4) 参加申込書及び、大会登録票また、プライバシーポリシー同意書は指定の用紙を使用する。
協会にて派遣の為、帯同させなくても良い。
- 13 帯同審判
14 選手等変更届
及びメンバー
提出用紙
- (1) 参加選手の変更・追加は当日朝の監督会議上で報告願います。
(参加選手の変更・追加・背番号変更など、変更ある場合は必ず必要書類を提出のこと、必要書類がない場合は認めない)監督会議終了後の変更は認めませんのでご了承願います。また、変更があった場合、そのチームが全道大会に出場する場合は、速やかに新しいものを宗谷地区サッカー協会事務局長宛に提出できるチームに限る。
- (2) メンバー提出用紙はありませんので、登録票とフットサル選手証を合わせて監督会議の席で提出とする。選手証を提出する際は、登録票順に並べ提出すること。
- 15 競技者の
用具等
- (1) ユニフォーム
- ① フィールドプレーヤー、ゴールキーパー共に、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、パンツ、ストッキング)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。
- ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
- ③ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩及び同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
- ④ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- ⑤ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。フィールドプレーヤーは1番をつけることができない。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- ⑥ ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- ⑦ その他のユニフォームに関する事項については、(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定に則る。
- (2) ビブス
ビブス → 交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (3) 靴
キャンパス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの(スパイクシューズ及び靴底が着色されたものは使用出来ない)
- 16 監督会議
- (1) 日 時 平成27年12月20日(日) 午前9時15分から(参加チームにより変更有)
(全チーム8時に集合し会場設営をお願いいたします)
- (2) 会 場 稚内市総合体育館本部
- 17 表彰及び
表彰式
- (1) 優勝、準優勝には表彰状を授与する。
(2) 優勝・準優勝チームにおいては、最終試合終了後に大会本部にて表彰いたします。
- 18 負傷及び
事故の責任
- (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。
(2) 選手は、スポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。
- 19 そ の 他
- (1) 電子選手証等
各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行の電子登録証の写し(写真が登録されたもの)または選手証(写真が貼付されたもの)を、代表者会議会場および試合会場に持参すること。電子登録証及び選手証が確認できない場合は、試合に出場できない。
- (2) 選手の資格に関して、不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
- (3) 交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (4) 会場は公共施設のため、社会人としてのマナーを守り、正しく使用する。また、破損等が起きた場合は、チームにて責任を持つこと。(試合と関係ない場合)
- (5) 大会会場(メインアリーナ)で可能な飲料は「水のみ」に限定する。ラベル等を剥してのペットボトルの持込は禁止とし、万が一持ち込んだ場合本部にて一時預かりとする。
- (6) 喫煙は指定の場所で喫煙する。また、靴は玄関に置かない。指定の靴箱か袋に入れ管理する。
- (7) 全チームで後片付けをいたします。宿泊するチームは後片付けを手伝うようお願いします。
(遠方のチームも時間がある場合はお手伝い願います)
- (8) 各自、各チームで出したゴミはすべて持ち帰ること。(それぞれ陣取った場所周辺の掃除をお願いします)
- (9) 要項以外に記載されていない事項が起こった場合、全道大会要項に沿って行いますので、全道大会版の要項もご確認ください。
- (10) 悪天候により、公共の交通機関が停止し参加できないチームが出た場合はこれを認める。また、**試合開催後、悪天候又は災害により会場より離れなければならない場合は、代表者と協議しその場対応をとることとする(大会責任者の意向を尊重してもらう)**

※ 優勝チームは、平成28年2月13日(土)14日(日)札幌市北海道立総合体育センター(北海きたえーる)で開催される全道フットサル選手権全道大会 一般の部への参加を義務づける。

以上